

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項を「注意」として表記してあります。

⚠ 注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。
-------------	--

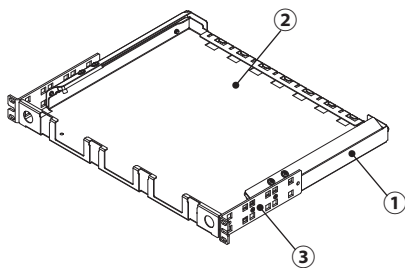
なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- ⚠ 気をつけていただく内容です。
- ⊘ してはいけない内容です。
- ❗ 実行しなければならない内容です。

■使用上のご注意

⚠ 注意					
⚠	引出しユニットの開閉時、指、ケーブルおよび光ファイバの挟込みや巻込みに十分注意してください。けが・断線の原因になります。				
⚠	結束テープ、インシュロックなどでケーブルおよび光コードを固定する際、締付け過ぎに注意してください。伝送損失および光ファイバ断線の原因になります。				
⊘	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコミや歪みが発生し、強度低下の原因になります。				
⊘	本製品をラックに取付けた状態で手をついたり、もたれたりしないでください。破損・けがの原因になります。				
⊘	引出しユニットを引出した状態で、引出しユニットに荷重をかけないでください。落下・破損・変形の原因になります。				
❗	使用するねじは、指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>2.3 ~ 3.0</td> </tr> </table> <p>※ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。</p>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M5	2.3 ~ 3.0
ねじの呼び	適正締付トルク N・m				
M5	2.3 ~ 3.0				
	<p>次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・高温、高温となる場所 <li style="width: 50%;">・腐食性ガスのある場所 <li style="width: 50%;">・振動、衝撃のある場所 <li style="width: 50%;">・可燃性ガスのある場所 <li style="width: 50%;">・塵埃やオイルミストが多い場所 <li style="width: 50%;">・有機溶剤のかかる場所 <li style="width: 50%;">・水滴の掛かる場所 				

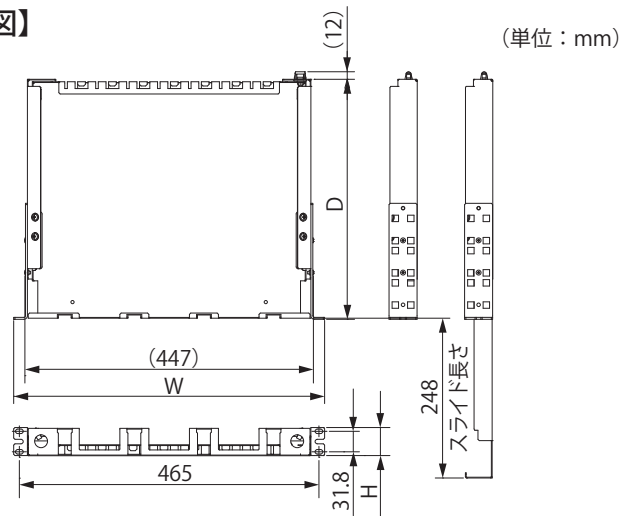
■各部の名称・仕様



(単位：mm)

番号	部品名	材質	板厚	数量
①	ユニット本体	鉄	1.0	1コ
②	引出しユニット	〃	1.2	1コ
③	ブラケット	〃	2.3	2コ

【寸法図】



(単位：mm)

品名記号	外形寸法			塗装色	製品質量 kg	呼称
	W	H	D			
RD962-1EK	482.6	43.5	372.5	ブラック	3.3	1U

U=44.5

●付属品

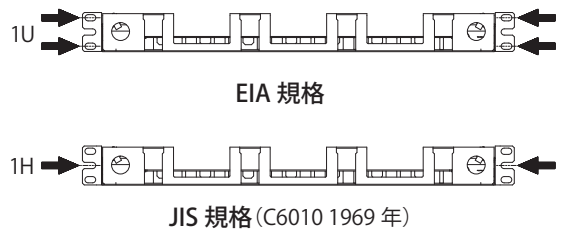
名称	数量
インシュロック	1コ
取扱説明書(本紙)	1部

■取付方法

EIA 規格、JIS 規格 (JIS C 6010 1969 年) のラックのマウントアングルへ取付可能です。

ご注意

- ・EIA 規格のラックと、JIS 規格 (JIS C 6010 1969 年) のラックで固定する箇所が異なります。矢印の箇所固定してください。
- ・HUB 収納キャビネット (THD シリーズなど) の 19 型タテ置きタイプでは使用できません。

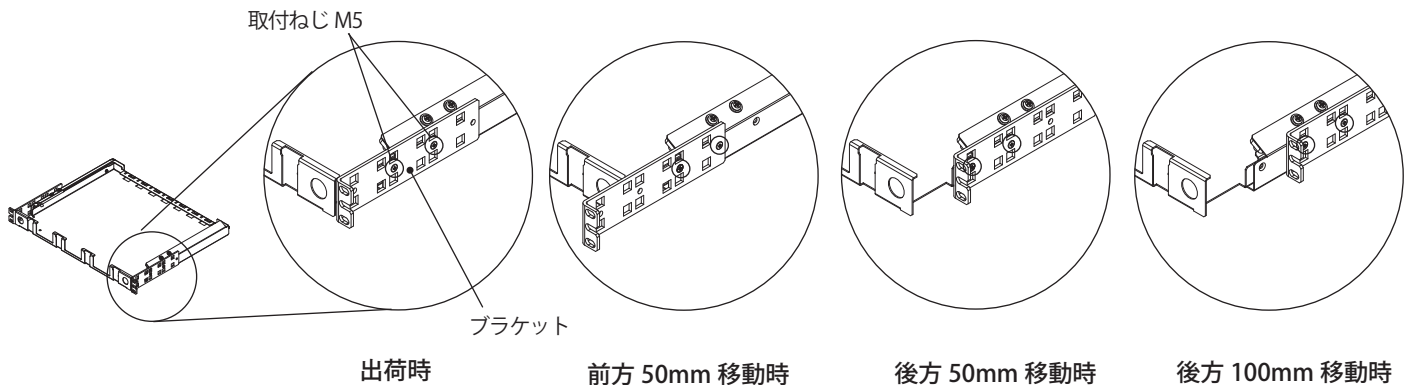


●ブラケットの移動方法

ブラケットの移動により、ユニット位置を調整してください。

ブラケットの移動量は前方に 50mm、後方に 50mm、100mm です。

1. ブラケットを固定している取付ねじ M5 を外し、ブラケットを取外してください。
2. ブラケットを適正な位置に移動して取付ねじ M5 で固定してください。



⚠ 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.3 ~ 3.0

※ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

■配線方法

ご注意

- ・引出しユニットを引出す際は、光コードまたは LAN ケーブルに張力がかからないように注意してください。
- ・引出しユニットの引出し、収納を行う際は、光コードまたは LAN ケーブルの挟み込みに注意してください。

ブラケットの取付位置が出荷時の位置または、前方に 50mm 移動した場合は、引出しユニット前面の U カット部から光コードまたは LAN ケーブルを入出線し、光コードまたは LAN ケーブルの余長を収納してください。(図 1)

ブラケットの取付位置を後方に 50mm、100mm 移動した場合は、引出しユニットの側面開口部から光コードまたは LAN ケーブルを入出線することができます。(図 2)

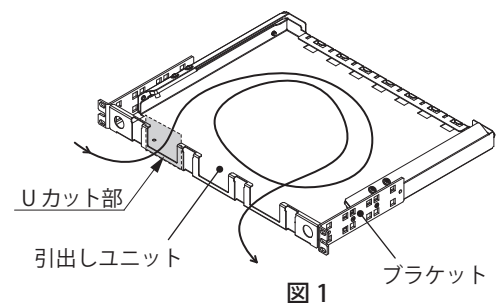


図 1

コードガイド【RD96-1PK】を使用することにより、ユニット前面の光コードまたは LAN ケーブルの配線処理ができます。

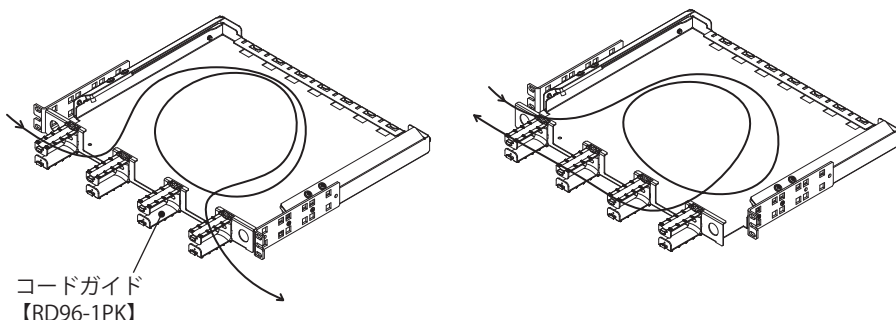
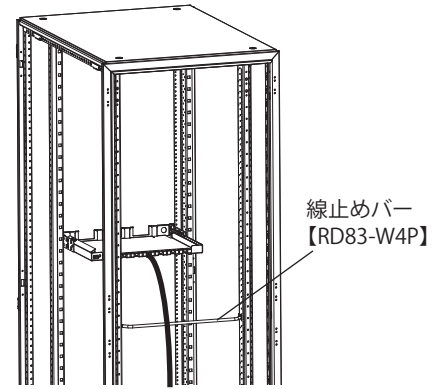


図 2

■背面ケーブル固定部の使用方法

ご注意

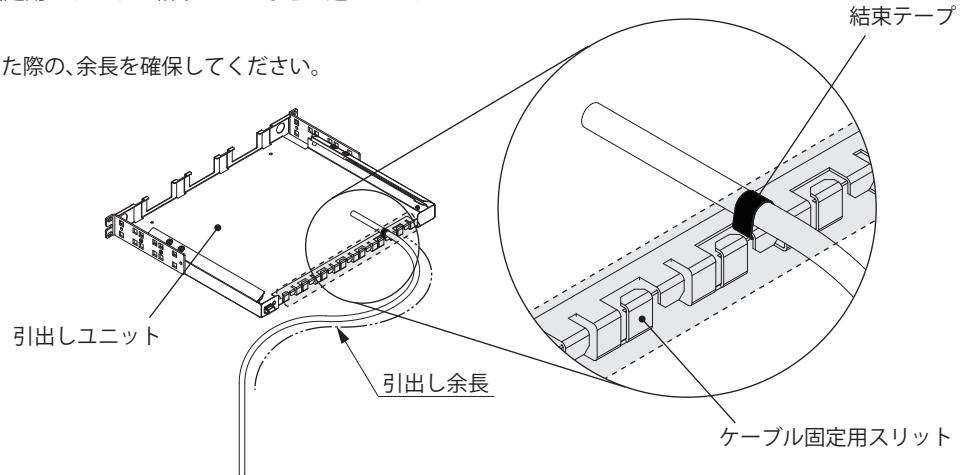
- ・ケーブルの張力が直接ケーブル固定部にかからないようにしてください。
線止めバー【RD83-W4P】を利用し、ラック側で固定してください。
- ・ケージナット使用のマウントアングルに固定すると、ケーブルの張力などにより背面側が垂下がるおそれがあります。また、JIS規格ピッチの場合、片側1点止めとなりますので、ケーブルの張力などにより、背面側が垂下がるおそれがあります。



●水平入線する場合

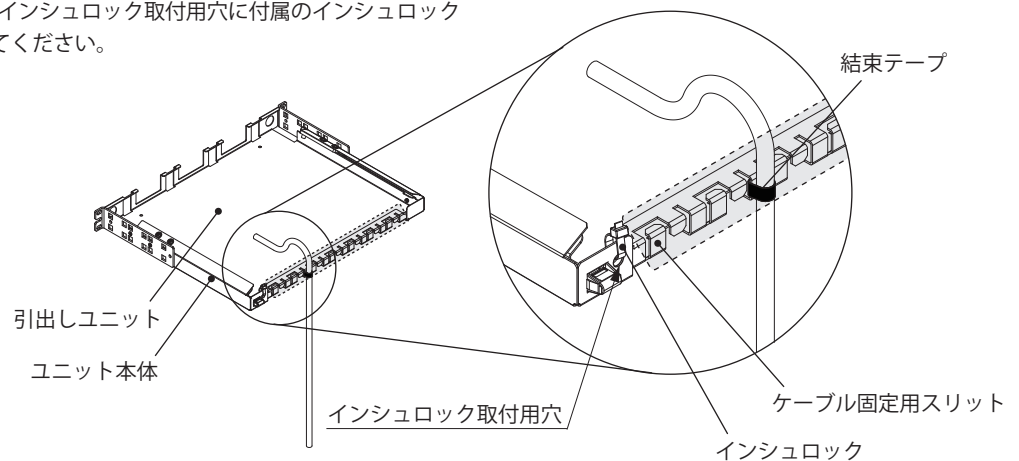
引出しユニット後部のケーブル固定用スリットに結束テープなどを通しケーブルを固定してください。

ご注意 引出しユニットを引出した際の、余長を確保してください。



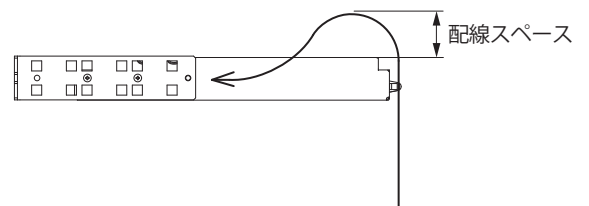
●垂直入線する場合

1. 引出しユニット後部のケーブル固定用スリットに結束テープなどを通しケーブルを固定してください。
2. ユニット本体と引出しユニットのインシュロック取付用穴に付属のインシュロックを通し、引出しユニットを固定してください。



ご注意

固定したケーブルの曲げ半径が許容曲げ半径以下にならないように、スライド式余長収納ユニットの上部に配線スペースを確保してください。



⚠ 注意



背面よりケーブルを垂直入線するために、引出しユニットを付属のインシュロックで固定した場合は、引出しユニットを引出さないでください。破損の原因になります。

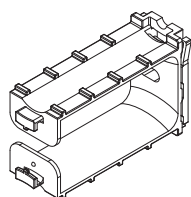


背面よりケーブルを垂直入線する場合は、必ず引出しユニットを付属のインシュロックで固定してください。固定しない場合、引出しユニットを引出した際に、ユニット本体とケーブルの干渉により、製品の破損やケーブルが断線するおそれがあります。

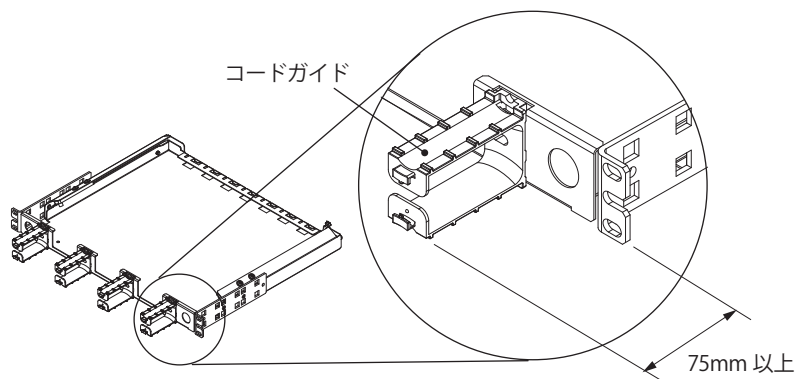
■ラックオプション コードガイド【RD96-1PK】の追加

前面にコードガイド【RD96-1PK】(4コ入)の取付けが可能です。

ご注意 コードガイドの取付けには、スライド式余長収納ユニットの前面に75mm以上スペースが必要です。



コードガイド
【RD96-1PK】



仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は2016年5月現在のものです。

C419176920